


発表項目 (行事名)	令和6年度(2024年度)第2回タンチョウ越冬分布調査の実施について																										
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																									
		発表場所																									
概要	<p><b>【ポイント】</b> 絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、次のとおり今年度2回目の調査を実施します。</p> <p>1 調査の概要</p> <p>(1) 日時 令和7年(2025年)1月22日(水) 5大給餌場及びその近接地区 各給餌場の給餌時間帯 <b>上記以外(石狩振興局)</b> 午前8時から午後4時までの間の任意時間帯 ※調査日の翌日及び翌々日(23日(木)及び24日(金))を補足調査日とします。 ※荒天時は調査日を1月29日(水)とします(補足調査日の設定方法は同じ。)</p> <p>(2) 場所 道内のタンチョウ生息地及び飛来地全域 (8(総合)振興局、48市町村管内で調査を実施予定)</p> <p>(3) 調査協力機関等 関係市町村、関係市町村教育委員会など</p> <p>(4) 調査の内容 大規模給餌場や主要な越冬地を中心に、観察場所、個体数、採餌環境、給餌の有無等を記録し、タンチョウの越冬状況を把握します。</p> <p>2 調査結果の公表 調査結果は、関係(総合)振興局で記録したものを、自然環境課で取りまとめ、2月下旬から3月上旬を目途に公表します。</p> <p>3 過去の調査結果(主なもの)</p> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>確認羽数</th><th>実施時期</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>昭和27年度(1952年度)</td><td>33羽</td><td>12月</td><td>第1回調査</td></tr><tr><td>平成元年度(1989年度)</td><td>441羽(1月)</td><td>12月, 1月</td><td>年2回調査に変更</td></tr><tr><td>平成17年度(2005年度)</td><td>1,081羽(1月)</td><td>12月, 1月</td><td>はじめて1,000羽超を記録</td></tr><tr><td>令和3年度(2021年度)</td><td>1,525羽(1月)</td><td>12月, 1月</td><td>過去最大の羽数を記録</td></tr><tr><td>令和5年度(2023年度)</td><td>1,366羽(1月)</td><td>12月, 1月</td><td>昨年度実績</td></tr></tbody></table> <p>※今年度の第1回調査は、12月5日に実施しました。(結果については1月15日同時刻発表済です。)</p>			年度	確認羽数	実施時期	備考	昭和27年度(1952年度)	33羽	12月	第1回調査	平成元年度(1989年度)	441羽(1月)	12月, 1月	年2回調査に変更	平成17年度(2005年度)	1,081羽(1月)	12月, 1月	はじめて1,000羽超を記録	令和3年度(2021年度)	1,525羽(1月)	12月, 1月	過去最大の羽数を記録	令和5年度(2023年度)	1,366羽(1月)	12月, 1月	昨年度実績
年度	確認羽数	実施時期	備考																								
昭和27年度(1952年度)	33羽	12月	第1回調査																								
平成元年度(1989年度)	441羽(1月)	12月, 1月	年2回調査に変更																								
平成17年度(2005年度)	1,081羽(1月)	12月, 1月	はじめて1,000羽超を記録																								
令和3年度(2021年度)	1,525羽(1月)	12月, 1月	過去最大の羽数を記録																								
令和5年度(2023年度)	1,366羽(1月)	12月, 1月	昨年度実績																								
参考	本事業は平成29年度(2017年度)から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社と協働で実施しています。 調査の詳細は別紙を御参照ください。																										

報道(取材)に当たってのお願い	取材を希望する場合は、1月21日(火)までに下記(総合)振興局環境生活課自然環境係に御連絡ください。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ、下記の(総合)振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	環境生活部自然環境局自然環境課(担当者:課長補佐 永仮) 電話ダイヤル:011-204-5203(内線24-352) 公用スマホ:011-585-6104(内線44280) ※各地域における個別の調査内容については、次の(総合)振興局環境生活課自然環境係までお問い合わせ願います。					
	区分	電話番号	区分	電話番号	区分	電話番号
	空知総合振興局	0126-20-0043	日高振興局	0146-22-9254	釧路総合振興局	0154-43-9154
	石狩振興局	011-204-5824	ホップ総合振興局	0152-41-0630	根室振興局	0153-23-6823
	胆振総合振興局	0143-24-9577	十勝総合振興局	0155-26-9028		

## 令和6年度(2024年度)第2回タンチョウ越冬分布調査について

1 調査の趣旨	絶滅のおそれが懸念されるタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に毎年実施しているものです。 関係機関等の協力のもと調査を進め、見られた場所や大まかな個体数等を記録します。
2 調査主体	北海道(環境省委託)
3 調査協力機関等	関係市町村、関係市町村教育委員会、釧路市動物園、日本航空株式会社、タンチョウ給餌人など
4 調査対象地域	空知、石狩、胆振、日高、オホーツク、十勝、釧路、根室の8(総合)振興局48市町村で調査を実施予定
5 調査期日	令和7年(2025年)1月22日(水) ※ 調査日の翌日及び翌々日(23日及び24日)を補足調査日とします。 ※ 荒天時は調査日を1月29日(水)とします(補足調査日の設定方法は同じ)。
6 調査時間	(1) 5大給餌場及びその近接地区 各給餌場の給餌時間帯 (2) その他の地域 午前8時から午後4時までの間の任意時間帯 ※ 5大給餌場: 環境省給餌場(鶴見台、鶴居・伊藤サンクチュアリ、阿寒国際ツルセンター)及び北海道給餌場のうち音別及び中茶安別
7 調査方法	地上からの目視により調査を行います。
8 調査内容	次の事項について調査・記録を行います。 (1) 着地しているタンチョウ 羽数(幼鳥、成鳥、不明の別)、場所(地点名) (2) 飛翔中のタンチョウ 羽数(幼鳥、成鳥、不明の別)、場所(地点名)、飛来又は飛去の方向 (3) 確認時刻 (4) 調査地の土地利用状況(畑・牧草地、農家の堆肥場、河川・湿地等) (5) 調査地における給餌の有無 (6) 調査地近隣の農家の有無
9 調査結果の集計、公表	調査結果は関係(総合)振興局で集計し、本庁で全道分を取りまとめた後、2月下旬から3月上旬を目途に公表します。
10 道民からの目撃情報の募集	本調査では、調査地点以外にタンチョウが飛来していることを考慮し、調査結果に反映するため、調査日周辺における目撃情報を道民の皆様からも募集します。 募集方法等の詳細は、以下のページで公表します。  <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tantyou.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tantyou.html</a>

# 過去のタンチョウ越冬分布調査の結果

○これまでのタンチョウ羽数の推移（昭和27年度から令和6年度 合計羽数）

